

令和8年度生成AIを活用した経営支援モデルの構築に向けた実証業務
【評価基準に基づく評価項目別の総合値(第2次審査)】

| 項目 | 評価のポイント | 配点 | 参加者別評価値 | | |
|-------------------------|---|-----|---------|--------------|------------|
| | | | アデコ株式会社 | ライフイズテック株式会社 | 株式会社グラフィアー |
| 1 実施方針 | ○ 業務実施に当たっての基本的な考え方や、商工団体の課題が的確に押さえられており、本業務の目的を深く理解した上で実施する意欲があるか。 | 20 | 18 | 15 | 14 |
| 2 業務内容 | | | | | |
| (1) プログラムの企画・設計 | ○ 参加する経営指導員等に「参加メリット」を提示し自発的に取り組ませる仕組みや、知見を引き出し業務棚卸しからプロトタイプモデルの構築までを円滑に進める手法が優れているか。 | 40 | 36 | 28 | 26 |
| | ○ 現場の負担とならないよう省力化を図りつつ、情報を的確に収集する仕組みが設計されているか。 | 60 | 48 | 45 | 42 |
| | ○ 実証結果から「経営支援モデル」を確立させるステップや、次年度以降に経営指導員が自立するためのステップが論理的に設計されているか。 | | | | |
| (2) プログラムの実施・検証 | ○ 現場の実情を反映したプロトタイプモデルを構築し、支援実務の中で実証できるよう、対面・オンライン等を組み合わせた柔軟かつ適切な支援体制となっているか。 | 60 | 48 | 39 | 42 |
| | ○ 収集した情報を基にした定期的なレビューや効果検証が行われる体制となっているか。 | 40 | 32 | 28 | 26 |
| | ○ 参加者間の知見共有を促すとともに、実証結果等を基に「経営支援モデル」を作成し、経営指導員の自立に向けた支援ができる実行力があるか。 | | | | |
| (3) 令和9年度以降の組織的展開に向けた整理 | ○ 個別のヒアリング等において、各団体の実情や意向を的確に引き出すための対話手法が示されているか。 | 40 | 30 | 28 | 26 |
| | ○ 作成する成果物を有効活用し、各団体が自立的かつ段階的に組織として導入していけるよう、実現性が高く説得力のある道筋を描く戦略が示されているか。 | 60 | 45 | 36 | 42 |
| (4) 成果物の作成 | ○ 「具体的な支援事例」が、他の経営指導員への紹介や機運醸成に資するよう、魅力的なデザインや分かりやすい構成・内容として提案されているか。 | 20 | 12 | 12 | 12 |
| | ○ 「経営支援モデルパッケージ」が、本事業に参加していない経営指導員でも直感的に理解でき、実務ですぐに使える再現性の高い構成や掲載情報として提案されているか。 | 40 | 26 | 26 | 24 |
| 3 実施体制 | ○ 本業務全般を実施するに当たって十分な体制となっているか。(1人の担当者に業務が偏っていないか) | 40 | 24 | 24 | 16 |
| 4 経費 | ○ 経費の内訳は、業務内容に見合った適正な額となっているか。 | 20 | 10 | 11 | 9 |
| 5 スケジュール | ○ 実現可能なスケジュールとなっているか。 | 20 | 12 | 10 | 10 |
| 6 その他自由提案※ | ○ 仕様書に記載された事項以外に、本業務の目的達成に寄与する独自の有益な提案が含まれているか。 | 40 | 30 | 24 | 24 |
| 評価値計 | | 500 | 371 | 326 | 313 |